

自己評価報告書(最終報告)

報告者

生活・健康系コース(技術・工業・情報) / 曾根 直人

■平成24年度の目標に対する自己点検・評価

I. 学長の定める重点目標

I-1. 科研費申請に向けた計画等

国立大学法人運営費交付金は年々削減され、教員の研究費配分も厳しくなっており、教員各自が研究のための外部資金を獲得しなければならない状況である。そこで、科研費申請に向けて、あなたが考えているテーマと計画等について示してほしい。

1. 目標・計画

情報セキュリティに関する研究を進めるため、本学の持っているダークネットを活用した研究を継続する。

2. 点検・評価

本学のネットワーク未利用部分を使うダークネットを活用することで、共同研究を進行中である。

I-2. 大学院学生定員の充足に向けた取り組み

専攻・コースのこれまでの大学院学生定員の充足状況を踏まえた上で、あなたは定員充足のためにどのような取り組みを行うか、具体的に示してほしい。

1. 目標・計画

コースのWeb広報活動担当し広報活動を行う。

2. 点検・評価

技術・工業・情報コースのWebページを更新し、維持管理を行なった。

Ⅱ. 分野別

Ⅱ-1. 教育・学生生活支援

1. 目標・計画

研究室での研究活動を活発にし、学生の学会発表を行う。
LMSを活用し、オンラインでの教材提示や小テストを行う。

2. 点検・評価

日本産業技術教育学会四国支部にて学部4年生が「mbedを用いたネットワーク対応熱中症度計の制作」を発表した。

Ⅱ-2. 研究

1. 目標・計画

情報セキュリティに関する研究を進め、学会発表を行う。

2. 点検・評価

神戸大学との共同研究の成果をSCIS2013にて「ダークネット観測に対してハニーポットが与える影響」として発表した。

Ⅱ-3. 大学運営

1. 目標・計画

情報基盤センターのシステム改善に努める。

2. 点検・評価

自動管理や管理用プログラムの整備, ログの確認により情報基盤の部分は一定のレベルで安定した運用が行なえている。

Ⅱ-4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

1. 目標・計画

附属学校のネットワーク運営に協力する。

2. 点検・評価

附属学校・園のネットワークやコンピュータの運用に関して情報交換しながら運営を実施した。

Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)

昨年に引き続きエコアクションのヒアリングへ参加し, 学内消費電力の可視化やtwitterによる消費電力の発信などについて説明した。